

肥料の三大成分

N(チッソ)
葉

P(リン酸)
実・花

K(カリウム)
根



肥料の袋に書いてある3つの数字は、左から「チッソ」「リン酸」「カリウム」の含有比率。5kgの袋で「888」とあれば、5kgの8%に当たる400gがそれぞれ入っているということ



肥料は、大きく分けると2種類。速効性の高い「化学肥料」は点滴、ゆっくり効果が出て持続性のある「有機肥料」は毎日の食事に例えるとわかりやすいですね。どちらもN(チッソ)、P(リン酸)、K(カリウム)の三大成分から構成され、それぞれ作用するところが異なります。

覚えておきたい

肥料の種類

有機肥料

動物性、植物性の有機物が原料。ゆっくりと効果が現れ、持続性がある。

化学肥料

主に無機物が原料で、化学的工程を経て作られる。水に溶け、速効性がある。

教えて！肥料のあれこれ



◎どんな所で買った方がいいの？

100均などの安い商品は、外国産の物をリパックしていたり、原料にコストをかけていなかったり…というケースもあるので、国産肥料メーカーの商品が安心！

◎肥料の保管方法

密閉し、雨や日光の当たらない場所で保管しましょう。特に有効期限はありませんが、化学肥料は高温や雨などで表面のコーティングが溶けることもあるので要注意。

◎土の再利用

収穫を終えたらシートに土を広げて根などを除き、微生物資材(微生物の機能を利用して作物の生育や健康を改善するための資材)と腐葉土を混ぜて1~2週間ほど置けば再利用できます。

「ずばり『ポカシ肥料』です！油かすや骨粉などの有機物に微生物を投入して40日ほど発酵

させた物なので、肥料の中にアミノ酸がたっぷり入っています。根からアミノ酸を吸収するので糖度もうまみも抜群にアップ！しかも土の成分バランスも改善できるので、おすすめですよ」

「野菜の味は肥料によって変わるんですよ。味の決め手は『作物が生成するアミノ酸をいかに増やすか』。アミノ酸は光合成によって生成されるので、微生物によって土が柔らかくなり、根がしっかりと張つて光を受け止めやすい葉を作るためにも、有機肥料が良いですね」

「真木さん自身も家庭菜園を楽しんでいますが、そこは肥料のプロ！「トマトの6段目が開花しているのに1段目の収穫ができないのは、チッソ過剰で生育が順調でない目安」など、日々の詳しい生育状況を記録して翌年に活かしているそうです。

ただ、土の改良には3~5年かかるそう。そこで、特別な秘密兵器を教えてくださいました。「ずばり『ポカシ肥料』です！油かすや骨粉などの有機物に微生物を投入して40日ほど発酵

「土や肥料のことがわかると、家庭菜園の真の面白さに目覚めちゃうかも?!」

肥料で味が変わる?!

「野菜の味は肥料によって変わるんですよ。味の決め手は『作物が生成するアミノ酸をいかに増やすか』。アミノ酸は光合成によって生成されるので、微生物によって土が柔らかくなり、根がしっかりと張つて光を受け止めやすい葉を作るためにも、有機肥料が良いですね」

「土や肥料のことがわかると、家庭菜園の真の面白さに目覚めちゃうかも?!」

「土」と「肥料」 知れば ナットク!

プロに聞く!

Let's enjoy 家庭菜園

いま、家庭菜園がブーム! 夏野菜の栽培に挑戦してみたいけど…どんな土や肥料を選んだらいいのか、わからないことだらけ。そこで、肥料のプロにお話を聞いてきました!



日之出屋商店の眞木寛司さん。肥料のプロとしては練馬区内でただ1人、23区でも希少な存在だそう



店の奥にあるのは、昭和8年に大泉で創業した当時の看板
〔取材協力〕「ペットショップさんぽぽ」内日之出屋商店 大泉学園町1-5-7
☎03-3922-0483
www.san-popo.com



とにかく「土」が命!

眞木さんは、地元で85年肥料販売を営む老舗の三代目。本業は、農家への肥料販売や畑の土壌検査などですが、最近の家庭菜園ブームで個人向けにも小売を始め、肥料の相談にも乗ってくれる心強い存在です。

「作物をつくる上で、いちばん大事なのは『土』。プロの農家さんにとって土は命なので、初めに土の成分を詳しく調べてから肥料の配合を考えていきます」

「手付かずの自然の野山にある土が理想ですね。ふかふかして水はけが良く、炭素とチッソの質量比(CN比)が必ず25%前後に維持されています。人間が手を加えた畑はそのバランスが崩れて病害が起きやすくなるので、農薬を使うことになるのです」



「土にそんな黄金比があったとは! とにかく大事なのはバランスということですね。ちなみに、野菜に虫が付くのは、そのバランスの崩れが要因のひとつ。CN比が下がった土壌に肥料を入れ過ぎてチッソが過剰になると、アミノ酸に変化する前にアミドという成分で止まってしまいます。アミドは甘い香りを出すので、虫を呼び寄せてしまうというわけです」

人間に例えると、食べ過ぎでお腹いっぱい状態が続く、太って体力が低下し病気になるようなもの。作物も、肥料の与え過ぎには注意!